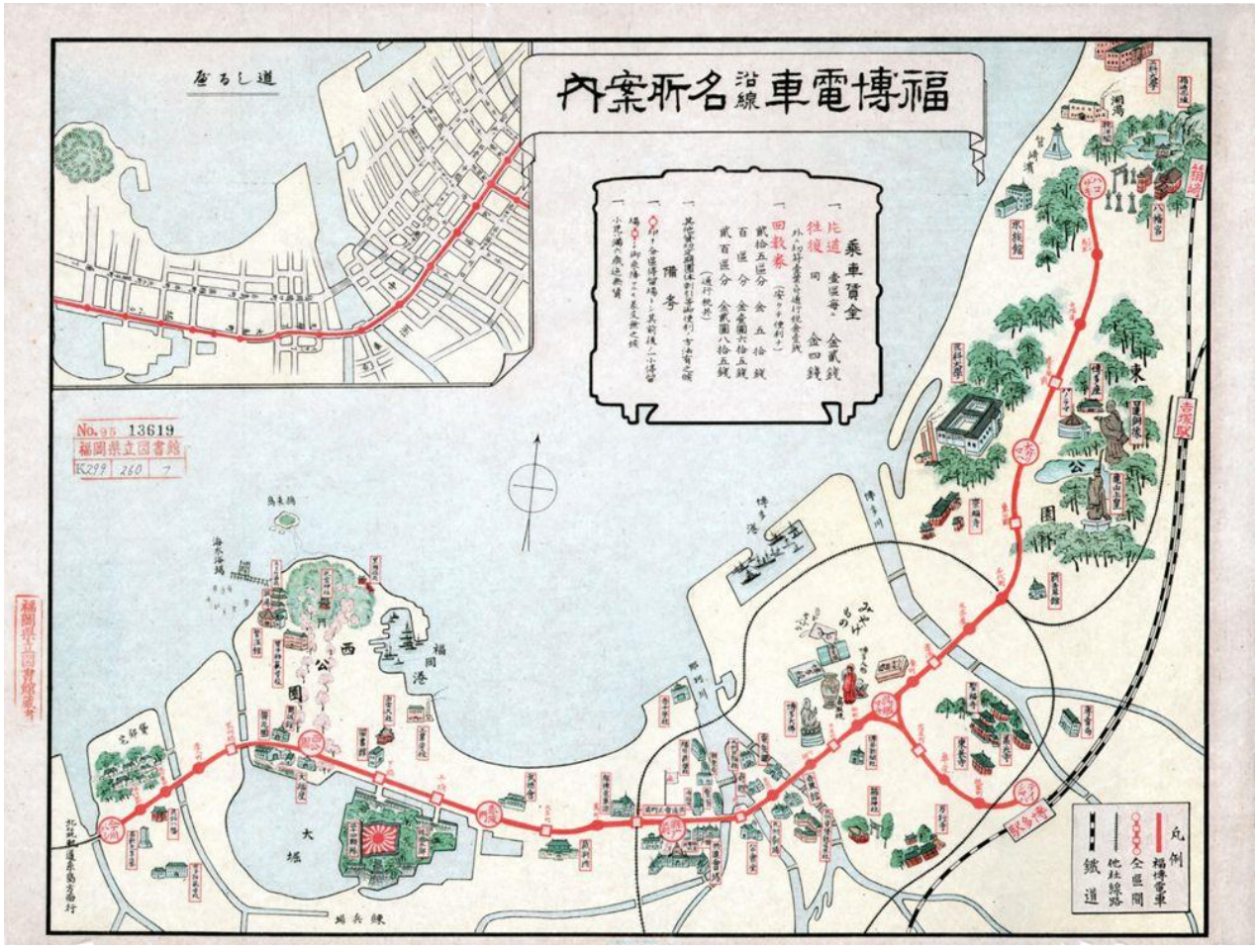
要　　覧

令和８年度



福岡県立図書館デジタルライブラリ
「福博電車沿線名所案内」明治 43 年

福岡県立図書館

目　　次

１　沿　　革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　運営の基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３　令和７年度事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

４　組　　織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

５　福岡県立図書館協議会委員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

６　予　　算　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

７　施設の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

８　利用案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

９　統計資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

１　沿　　革

大正　４年１０月 （１９１５年）	大正天皇御即位記念事業として、福岡県立図書館を設立することが臨時県会において可決、3 か年継続事業として総経費 132,240 円
大正　４年１２月 （１９１５年）	福岡県立図書館規則を制定し、図書館を福岡県庁内に設置
大正　７年　３月 （１９１８年）	同館落成、5 月 1 日から一般の無料閲覧を開始 場所は現在の天神 2 丁目、本館は木造 2 階建て延べ 492 坪、書庫は煉瓦造り 3 階建て延べ 120 坪、蔵書は和洋書約 25,000 冊 この建物は昭和 20 年 6 月 19 日戦災により焼失
昭和２０年　６月３０日	仮事務所を中学修猷館内に置き復興事務を開始
昭和２３年　８月	県議会において本館の復興を可決し、総経費 530 万円をもって工事に着手し、昭和 24 年 7 月 1 日落成、7 月 4 日から閲覧を開始、場所は博多区東公園内で、本館は木造平屋建て 141 坪、書庫は 2 階建て 35 坪
昭和３５年　９月１０日	県と市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を取り交わし、市が公会堂を県は図書館を建設することを決定
昭和３８年　２月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし、工費 34,056 万円をもって 2 月 15 日着工、翌 39 年 8 月 15 日落成
昭和３９年１１月　３日	文化会館が中央区天神 5 丁目に開館、鉄筋コンクリート 4 階建て、書庫地下 1 階、地上 7 階延べ 7,205 ㎡
昭和５４年１２月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が 12 月県議会において議決
昭和５６年　４月２１日	図書館新築工事着工（施設の概要は別記）
昭和５７年１２月	12 月県議会において、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、図書館を設置
昭和５７年１２月２７日	新館竣工
昭和５８年　２月２５日	落成式挙行
昭和５８年　４月　１日	開館、一般閲覧開始
昭和５９年１１月　４日	日曜開館実施
平成　５年１０月　１日	県議員会館が図書館に所管換される
平成　６年　９月	図書館別館改築工事着手（県議員会館の転用）
平成　７年　３月３１日	別館竣工
平成　７年　４月　７日	別館開館、一般供用開始
平成　７年　６月　２日	別館落成式
平成　７年１１月１０日	本館地下書架増設に伴う改築工事着手

平成　８年　３月１５日　同上竣工

平成　８年　３月２２日　電算による業務開始

平成１０年　５月１５日　インターネットによる図書情報提供開始(福岡県立図書館所蔵和図書情報33万件)
「ふくおか生涯学習ネットワーク」
(ｱﾄﾞﾚｽ http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/)

平成１１年　４月　１日　福岡県立図書館組織規則改正
インターネットによる図書情報提供に北九州市、福岡市加わる
(福岡県立図書館､北九州市立中央図書館､福岡市総合図書館 3館の和図書情報計 130 万件)

平成１２年　３月　図書館協力車として車１台の寄贈を受ける
(平成 16 年度以降資料配送業務を外部委託)

平成１３年１０月　別館子ども図書館増改築工事着手

平成１４年　２月２２日　同上竣工

平成１４年　４月２３日　子ども図書館開館記念式典

平成１５年　８月　ビジネス支援情報コーナー設置

平成１６年　２月　新・福岡県図書館情報提供システム稼働開始
ネットワーク加入館の拡大

平成１７年　１月　平成 16 年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)

平成１７年　４月　休日開館実施

平成１７年１１月　「学校支援サービス」の拡充（学校貸出図書セット運用開始）

平成１９年　７月２４日　青少年と暮らしの交流室設置
(令和 2 年 2 月第一閲覧室別室へ名称変更)

平成２０年１２月　郷土資料室 Web サイト開設

平成２１年　２月　福岡県図書館情報提供システム更新

平成２２年　３月　在架予約サービス開始

平成２２年１０月　遠隔地貸出・返却サービス本格実施

平成２４年１０月　福岡市立図書館との相互返却を開始

平成２５年　６月　福岡県公共図書館等協議会において、全県的に「学校支援サービス」本格実施

平成２５年１１月　第 99 回全国図書館大会福岡大会開催

平成２６年　２月　福岡県図書館情報提供システム更新

平成２７年　２月　平成 26 年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)

平成３０年　開館 100 周年

平成３０年１１月１８日　「開館百周年記念式典」挙行

平成３１年　２月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成３１年　４月	「遠隔地貸出・返却」サービスの名称を「指定館受取・返却」サービスに変更
令和　２年　４月	福岡県立図書館組織規則改正（班制の実施）
令和　２年１０月１５日	電子図書館サービス（KinoDen）提供開始
令和　３年　３月	福岡県立図書館デジタルライブラリ、 ふくおか資料室ホームページリニューアル
令和　４年　１月２５日	電子書籍サービス（Librari-E & TRC-DL）提供開始
令和　６年　２月　１日	福岡県図書館情報提供システム更新
令和　６年　３月　１日	Web 利用登録、「図書推薦アンケート」を開始
令和　６年　４月　１日	「電子書籍団体利用」サービスを実施
令和　７年　１月	令和６年度図書館地区別研修（九州・沖縄地区）
令和　７年　２月	「障がい者向け郵送貸出サービス」を開始
令和　８年　２月	本館及び別館屋上防水・外壁改修工事完了

２　運営の基本方針

福岡県立図書館の基本理念
　生涯にわたる県民の学びと読書、地域文化の継承と発展に貢献する図書館

福岡県立図書館の使命
　館種を越えた県内図書館の情報拠点として、幅広い視点から資料・情報を収集・保存・提供し、多彩な情報発信を行うことにより、資料・情報の利活用による県民の学び、読書、課題解決を支援し、県民が自ら学ぶ気風の醸成と地域文化の未来への継承・発展に貢献する

基本方針
　福岡県立図書館の使命を実現するため、公共図書館をはじめとする県内の各種図書館と連携・協力し、図書館員の専門的能力を生かしながら、資料や情報を収集・保存・提供するとともに、積極的かつ多彩な情報発信を実践します。

目標１：「生涯にわたる学びの支援と情報発信」
　幅広く多様な資料・情報を収集・保存・提供し、あわせて多彩な情報発信を行うことにより、県民の学びや課題解決を支援します。

（１）専門書・参考図書を中心に紙資料を網羅的に収集するとともに、各種データベースや電子書籍を含むデジタル資料の充実に努め、県民の学び、課題解決に役立つ蔵書構築を目指します。
（２）調べ方の案内やレファレンス事例等の蓄積・発信により、国内及び国外の調査研究のための情報共有を促進します。
（３）国や県の関係機関等と連携・協力し、県民の学びに役立つ展示や講演会などの共同企画を実践します。
（４）ホームページやＳＮＳ・動画配信等の活用により、多彩で効果的な情報発信を実践します。

目標２：「子どもの学びと読書へのいざない」
　子どもの学びと読書活動の推進拠点として、子どもの豊かで多様な学びを支え、読書の喜びを伝えるお手伝いをします。

（１）子どもの本を網羅的に収集・保存・提供するとともに、子どもが読書に親しむための取組や技術の充実を図り、子どもの読書活動を推進します。
（２）学校や県学校図書館協議会と連携・協力し、子どもの探求的な学習や読書活動を支援します。
（３）読書ボランティアの養成や活動を支援し、市町村の子どもの読書活動推進に資するよう努めます。

目標３：「ふくおかの文化を育む」
　福岡県に関する資料・情報を収集・保存・利活用するため、紙資料の収集・保存とともに、デジタルアーカイブの充実を図ることにより、地域文化の継承・発展を支援します。

（１）福岡県に関する紙資料の収集・保存と並行して、デジタル化を主とする資料の媒体変換を行い、市町村と協力して県全体としてのデジタルアーカイブを構築することにより、福

岡県独自の資料・情報の利活用と情報発信を推進します。
（２）福岡県に関するレファレンス・ツールの作成とレファレンス事例の蓄積により、国内及び国外の福岡県に関する調査・研究を促進します。
（３）地域の出版社や書店と連携・協力し、福岡県に関する出版物等を収集・保存し、利活用のための情報発信を行うことにより、地域文化の継承・発展を支援します。

目標４：「バリアフリーの実現」

県民が、等しく学び、読書に親しむことができる環境を整備することにより、心の豊かさと生きる力を育むお手伝いをします。

（１）「障害者差別解消法」、「読書バリアフリー法」などに適切に対応したサービスや設備の改善を行うことにより、誰もが使いやすい図書館を目指します。
（２）読書に困難がある人へのサービスとして、大活字本やデイジー及びマルチメディアデイジー図書・LL ブック・音声読み上げ機能付電子書籍等を収集・提供し、情報アクセスの向上に努めます。
（３）さまざまな理由による情報格差を解消するため、先進的な情報技術の活用も視野に入れ、利用案内や検索支援等、県民の情報リテラシー(情報の利活用能力)向上のための情報提供を行います。
（４）福岡県で生活する外国人へのサービスとして、また、県民との相互理解を深めるため、日本を紹介する資料や外国語資料の充実に努めます。

目標５：「図書館サービスの推進拠点」

公共・学校・大学・専門図書館やボランティア団体をはじめとする県内の読書関連団体と連携・協力し、電子図書館を含む県全体の図書館サービス向上を目指します。

（１）研修事業を充実するとともに、図書館運営等に関する情報提供や各種相談に対応し、新たなサービス等についての調査研究を行うことにより、県内公共図書館等職員の育成支援と技術の継承を図ります。
（２）資料配送業務を含む「福岡県図書館情報ネットワーク」の運営により、相互貸借や共同研修の企画など、図書館の館種を越えた連携・協力を推進します。
また、電子書籍の本格的導入により、非来館型サービスを展開し、ネットワークの充実を図ります。
（３）図書館ボランティアと連携し、ボランティアの育成を支援することにより、官民の垣根を越えた図書館サービスの充実を目指します。

3　令和７年度事業

（１）研修・講座等

事業名			開催月日	内容	参加者等
読書週間関連事業	１日子ども図書館員体験（小学生）		11 月 8 日(土)	①　カウンター業務体験 ②　書庫出納体験 ③　おはなし会の補助、書架整理 ④　おすすめの本選び	小学５、６年生 6 名
	布の絵本展		10 月 25 日(土) ～ 11 月 9 日(日)	ゆずりはの会が制作した布の絵本の展示	県民一般 331 名 （うち子ども 177 名）
	おはなし会		11 月 1 日(土)	布の絵本の読み聞かせ	県民一般 14 名 （うち子ども 9 名）
	本の展示		9～11 月	子ども図書館司書おすすめの本の展示	県民一般
	読書推進大会（みやま市大会）		11 月 15 日(土)	優良読書グループ表彰・活動紹介「ろんぐらんぐ」 記念講演：「与田さんとみすゞさん　～二人のまなざし～」 講師：金子みすゞ記念館　館長　矢崎節夫　氏 記念座談会：「父　与田準一を語る」 登壇者：愛知淑徳大学教授　青木文美氏 北原白秋生家・記念館前館長　大橋鉄雄氏 与田準一記念館前館長　吉開忠文氏 ビデオ出演：与田準介氏（作詞家　橋本淳）	県民一般 図書館関係者 228 名
	県立図書館・放送大学　コラボ公開講演会		10 月 5 日(土)	講演「南極の宝石とゴンドワナ超大陸」 講師　九州大学名誉教授 放送大学客員教授 小山内 康人 氏	県民一般 78 名
	読書推進講演会		12 月 6 日(土)	講演「図書館と私」 講師 作家 鈴木 結生 氏	県民一般 94 名
公共図書館等職員研修会	基本研修	初任者研修会	動画配信 3 月 31 日(月) ～ 7 月 31 日(木)	対象：図書館業務初任者 内容：講義 1 「図書館ってどんなところ？ ～図書館の現在地とこれからの図書館～」 講義 2 「調査相談（レファレンス）の基礎知識」 講義 3 「本の正しい扱い方」 講義 4 「児童サービスの基礎」 講義 5 「郷土資料の活用法」 講義 6 「基本の著作権」 講義 7 「バリアフリーサービス」 事業説明 「図書館協力と福岡県図書館情報ネットワーク」 講師：福岡県立図書館職員	動画視聴 計 334 回再生

公共図書館等職員研修会		中堅職員研修 ※令和７年度福岡県公共図書館等協議会第１回職員研修会と兼ねる	7月 7日(月) 動画配信 7月28日(月) ～ 8月28日(木)	対象：県内公共図書館等関係者 内容：施設見学 那珂川市図書館 講演 「データで見る！ 中高生の読書事情と『読まれる本』の傾向 」 講師 ライター　飯田　一史　氏 事例 「１０代向け事業の取組み 」 発表 那珂川市図書館 事例 「YA サービスの取組 」 発表 大木町図書・情報センター	計 84 名 動画視聴 78 回再生
	専門研修	読書バリアフリーフォーラム九州・沖縄(読書バリアフリー研修) ※公益社団法人伊藤忠記念財団との共同主催	9 月 14 日(日)	対象：図書館員（公共図書館、学校図書館）、学校教職員、障害のある子どもをもつご家族、その他「読書バリアフリー」に興味や関心のある方 内容：Ⅰ「九州・沖縄エリアの読書環境の概況」 講師：福岡女子短期大学 特任教授 永利和則氏 Ⅱ「福岡県立図書館のバリアフリーサービスについて」 講師：福岡県立図書館　事務主査 小原大輔 Ⅲ「障がい種を超えた取り組み」 講師：福岡点字図書館 館長 夏秋圭助氏 Ⅳ 事例発表 ①公共図書館のスペースづくり「みんなの森」 佐賀県立図書館　司書 大木優子氏 ②公共図書館による「やさしい日本語」普及の取り組み 大分県立図書館　主事 植木拓郎氏 ③学校図書館での読書バリアフリーへの取り組み 霧島市立国分南中学校 講師 松田ひとみ氏 ④特別支援学校でのわいわい文庫の活用 沖縄県立森川特別支援学校 教諭 幸地英之氏 Ⅴ 伊藤忠記念財団の電子図書普及事業について Ⅵ パネルディスカッション「多様な立場の子どもたちの読書環境をどう支えていくか？」 パネリスト 福岡県立図書館 子ども図書班長 梶谷聡美 小郡市学校図書館支援センター 中村 文氏 永利和則氏　夏秋圭助氏 コーディネーター 有限会社読書工房 代表/専修大学 講師 成松一郎 氏 バリアフリー図書展示	200 名 （会場 40 名 ｵﾝﾗｲﾝ 160 名）
		資料保存研修	12月15日(月)	対象：公共図書館等職員 会場：北筑後教育事務所 内容：講義、実習（簡易製本、簡易補修） 講師：福岡県立図書館職員	15名
		レファレンス研修（初級）（オンライン）	9月 8日(月)	対象：図書館レファレンス業務経験が延べ３年未満で、当研修を初めて受講する職員 内容：講義・演習「情報検索サービス（基礎編）」 講師：福岡県立図書館職員	14名

		レファレンス研修（中級）	10月27日(月)	対象：図書館レファレンス業務経験が延べ３年以上で、当研修を初めて受講する職員 内容：①講義「生成AIと図書館：変わる情報環境と変わらない専門性」 講師：慶應義塾大学文学部非常勤講師 中島　玲子　氏 ②演習「レファレンス課題調査」 講師：福岡県立図書館職員	18名 （講義のみ 4名 講義･演習14名）
		デジタル資料の活用研修	12月 8日（月）	対象：公共図書館等職員及び県職員 内容：①電子書籍サービス「KinoDen」「LibrariE & TRC-DL」について 講師：県立図書館職員 ②雑誌記事索引集成データベース「ざっさくプラス」について 講師：株式会社皓星社　データベース部 河原　努氏 ③データベース調査演習 講師：県立図書館職員	14名
子どもと読書研修会	児童図書館 入門講座(全４回)		5月26日(月) 6月 9日(月) 6月16日(月) 6月30日(月)	対象：児童サービス経験２年以下 内容：読み聞かせ、選書、レファレンスサービス等についての講義及び実習	県内公共図書館職員等　33名
	専門講座 ※子ども読書推進事業「子ども読書スキルアップ講座」と合同開催		12月22日(月) 動画配信 1月30日(金) ～ 2月28日(土)	対象：県内公共図書館（室）職員、学校図書館職員、読書ボランティア等 内容：①講演「子どもの本を選ぶこと」 講師　大阪国際児童文学振興財団 土居　安子　氏 ②ワークショップ「選書」 講師　同上	①96名 ②38名 動画視聴 205回再生
子ども読書推進事業	子ども読書推進講演会		10月20日(月)	対象：県内公共図書館 室 職員、教職員、学校司書、読書ボランティア等 講演「子どもの『読みたい！』を引き出すために 」 講師：東京子ども図書館理事・風渡野文庫主宰 杉山 きく子 氏	113名
	青少年読書推進事業 「青少年読書推進講座①」 「青少年読書推進講座②」		11月17日(月) 9月22日(月)	対象：県内公共図書館(室)職員、学校司書、教職員、教育委員会・社会教育関係職員等 内容：講演「ＧＩＧＡスクール時代の学校図書館」 講師：伊勢市教育委員会事務局　教育メディア課 読書推進係　　宮澤　優子　氏 内容：ボードゲーム体験・評価ワークショップ	県内公共図書館(室)職員、教職員、学校司書、社会教育関係職員等 ①33名 動画視聴 240回再生 ②16名
	子ども読書スキルアップ講座 ※「子どもと読書」研修会専門講座と合同開催		12月22日(月) 動画配信 1月30日(金) ～ 2月28日(土)	対象：県内公共図書館（室）職員、学校図書館職員、読書ボランティア等 内容：①講演「子どもの本を選ぶこと」 講師　大阪国際児童文学振興財団 土居　安子　氏 ②ワークショップ「選書」 講師　同上	①96名 ②38名 動画視聴 205回再生

ボランティア講座等	音訳等ボランティア研修会	10月10日(金)	講演：「「情報を届ける」録音図書製作 ～利用者に届く1冊をつくるために、 私たちが大切にしたい視点～」 講師：社会福祉法人　京都ライトハウス 情報ステーション・情報製作センター 副所長　松田　裕美　氏	音訳等ボランティア及び視覚障がい者サービスに携わる施設職員 110名
	録音図書製作（音訳・校正・DAISY校正）ボランティア養成講座	9月 3日～ 9月24日の 毎週水曜日 （全4回）	録音図書製作に関する基礎的な知識・技能の講座	県民一般 最終受講者8名
その他	バリアフリー図書読書体験会 ＊福岡県点字および録音図書連絡協議会共催事業	① 9月14日(日) ②11月29日(土) ③12月14日(日) ④ 1月17日(土)	バリアフリー資料や読書支援機器の体験会 ①会場：電気ビル共創館 （読書バリアフリーフォーラム九州・沖縄） ②会場：嘉麻市立山田図書館 ③会場：カルタックスおおむた ④会場：宮若リコリス	県民一般 （読書に困難を抱える方、図書館関係者等） ①40名 ②49名 ③45名 ④86名

（2）大会等

事　業　名	開催月日	内　容	参加者等
第５８回 福岡県地方史研究 協議大会	6月28日(土)	テーマ 「文化財保存と活用 －歴史遺産を現代にどう活かすか－」 研究発表 ①「文化財の保存・活用の現状と課題」 北九州市の文化財を守る会　宇野　愼敏　氏 ②「郷土の建造物の保存と活用 ～大牟田市庁舎本館をめぐって～」 登録有形文化財大牟田市庁舎の保存と活用をめざす会 藤木　雄二　氏 ③「伊藤伝右衛門邸に見る文化財の在り方」 八幡郷土史会　　尾﨑　徹也　氏	県民一般 64名

（3）郷土資料調査

期　間	資　料　名
令和7年11月～8年1月のうち延べ10日間	「武谷文庫（D）」

（４）企画展示

期　　間	展　示　内　容	場　所
8月 1日～ 9月 7日	「辞典とことば」	本館1階エントランス
10月 7日～11月16日	「福岡県立図書館の蔵書でふりかえる昭和 100 年」	
1月20日～ 2月24日	「あなたへ本を届けたい～ ふくおかの書店・図書館のおすすめ本～」	
3月17日～ 5月10日	「映画と音楽」（映画資料展示）	

郷土資料ミニ展示		場　所
第1回　「ふくおかおかし　いとをかし」	（ 4月～　7月）	本館3階エレベーターホール
第2回　「戦後８０年 福岡の空襲」	（ 8月～ 11月）	
第3回　「ふくおかのいきもの」	（12月～　3月）	

（５）出版

福岡県立図書館要覧　令和７年度
福岡県立図書館報（№８１）

（６）職場体験活動等受入状況

区　　分	期　間	活 動 内 容 等	参加者等
中学生・高校生 職場体験活動	7月 1日～7月 3日 9月 4日～9月 5日 9月10日～9月11日	カウンター業務（貸出・返却等） 相互貸借業務 資料整理業務	10名
福岡県教育庁等高校生インターンシップ	7月15日～7月17日	カウンター業務（貸出・返却等） 相互貸借業務 資料整理業務 調べもの相談対応実習等	4名
図書館実習	8月25日～9月5日	カウンター業務（貸出・返却・レファレンス等） 相互貸借業務 資料整理業務	3名

（７）福岡県公共図書館等協議会事業

事　業　名		期　間	内 容	参加者等
総会・館長等研修会		6月 2日(月) 動画配信 7月 3日(木) ～ 8月 3日(日)	対象：県内公共図書館等関係者 内容：「これからの図書館運営の充実 ～新たな「望ましい基準」を見据えて～」 講師：筑波大学 図書館情報メディア系 准教授　池内　淳　氏	公共図書館・公民館職員等 55 名 動画視聴 50回再生
第１回職員研修会 ※令和７年度福岡県公共図書館等中堅職員研修会と兼ねる		7月 7日(月) 動画配信 7月28日(月) ～ 8月28日(木)	対象：県内公共図書館等関係者 内容：施設見学 那珂川市図書館 講演 「データで見る！ 中高生の読書事情と『読まれる本』の傾向 」 講師 ライター　飯田　一史　氏 事例 「１０代向け事業の取組み 」 発表 那珂川市図書館 事例 「YA サービスの取組 」 発表 大木町図書・情報センター	計 84 名 動画視聴 78 回再生
第２回職員研修会		1月16日(金)	対象：県内公共図書館等関係者 内容：ボードゲーム体験・評価を通じた参加者交流会（申込者のみ） 講演 「公共図書館等におけるクレーマー・カスタマーハラスメント対策 」 講師 弁護士　堀内　恭彦　氏	61 名 （交流会 4 名） 動画視聴 84 回再生
理　事　会		5月16日(金) 3月16日(月)	事業・決算の報告、事業計画・予算等の検討 協議会内の連携協力を図るための情報交換等	
各種委員会	図書館課題検討委員会	2月17日(火)	新聞の分担保存について	
	研修委員会	9月25日(木) 2月 5日(木)	県協議会主催の研修会の企画検討	
出　　版		「令和７年度　福岡県公共図書館等概況」		

（８）福岡県点字および録音図書連絡協議会事業

事　業　名	期　間	内 容	参加者等
総　　会	6月13日(金)	会場:福岡県立図書館	18名
バリアフリー図書 読書体験会	①9月14日(日) ②11月29日(土) ③12月14日(日) ④ 1月17日(土)	バリアフリー資料や読書支援機器の体験会 ①会場：電気ビル共創館 （読書バリアフリーフォーラム九州・沖縄） ②会場：嘉麻市立山田図書館 ③会場：カルタックスおおむた ④会場：宮若リコリス	①40名 ②49名 ③45名 ④86名
担当者連絡会	11月7日(金)	会場：福岡市総合図書館	18名
職員・ボランティア研修会	2月13日(金)	会場：田川市民会館　講座室１ 演題：「視覚障がい者等読書に困難のある人のために　図書館等施設・行政・ボランティアの役割と連携を考える」 講師：日本図書館協会障害者サービス委員会 佐藤　聖一　氏	会場12名 ｵﾝﾗｲﾝ68名

４　組　　織

令和８年４月１日現在

- 諮問機関　　福岡県立図書館協議会（委員１０名）
- 館長
  - 副館長
    - 総務企画室長
      - 総務班　班長、班員３名
        - 予算・決算・収入・支出・人事・服務・福利厚生に関する業務
        - 他の室、班に属さない業務
      - 企画広報班　班長、班員２名
        - 企画、広報、図書館システム、調査統計、関係団体、ボランティア、公共図書館支援、研修、相互貸借（総括）に関する業務
    - 資料支援室長
      - 資料班　班長、班員５名、会計年度８名
        - 図書資料の収集、選択、受入、整理、保管及び廃棄に関する業務
      - 調査相談班　班長、班員３名、会計年度３名
        - 図書館資料の参考調査及び資料の複写サービスに関する業務
        - 相互貸借（県外）に関する業務
    - 総合サービス室長
      - 一般図書班　班長、班員３名、会計年度７名
        - 図書館資料の貸出、返却、予約及び青少年の読書推進に関する業務
        - 資料展示に関する業務
        - 障がいのある人へのサービスに関する業務
        - 相互貸借（県内）に関する業務
      - 子ども図書班　班長、班員２名、会計年度２名
        - 子ども図書の収集、整理、利用及び参考調査に関する業務
        - 子ども読書推進に関する業務
    - ふくおか資料室長 ― 班長、班員２名、会計年度２名
      - 郷土資料の収集、整理、利用及び参考調査等に関する業務
      - 資料のデジタル化に関する業務

５　福岡県立図書館協議会委員

令和８年８月１日現在

選 出 区 分	氏　名	役　職　名 （就 任 時）	委員任期	備考
学校教育関係者	大田　豊美	福岡市立北崎小学校長	R8. 8. 1～R9. 9. 7	新任
〃	髙田　博行	福岡県立福岡視覚特別支援学校長	R8. 8. 1～R9. 9. 7	新任
社会教育関係者	峰　惠	録音図書製作ボランティア	H29. 9. 8～R1. 9. 7	
			R1. 9. 8～R3. 9. 7	
			R3. 9. 8～R5. 9. 7	
			R5. 9. 8～R7. 9. 7	
			R7. 9. 8～R9. 9. 7	
〃	山田　美穂	水巻町図書館　職員	R7. 9. 8～R9. 9. 7	
家庭教育の向上に資する活動を行う者	古賀　理沙	福岡県ＰＴＡ連合会副会長	R8. 8. 1～R9. 9. 7	新任
学 識 経 験 者	片山　礼二郎	九州経済調査協会 BIZCOLI館長	R7. 9. 8～R9. 9. 7	
〃	池内　淳	筑波大学准教授	R7. 9. 8～R9. 9. 7	
〃	矢崎　美香	佐賀女子短期大学 地域みらい学科教授	R5. 9. 8～R7. 9. 7	
			R7. 9. 8～R9. 9. 7	
〃	安永　寛	福岡県書店商業組合 理事長	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
			R5. 9. 8～R7. 9. 7	
			R7. 9. 8～R9. 9. 7	
〃	川端　耕一	福岡県議会議員 （文教委員）	R5. 7.15～R5. 9. 7	
			R5. 9. 8～R7. 9. 7	
			R7. 9. 8～R9. 9. 7	

１０名　任期２年

６ 予　　算

事　　項　　名	金　　額
図書館運営費	１５８，４５１ 千円
図書資料購入費	６９，８２６ 千円
読書推進活動費及び図書館普及事業費	５２１ 千円
図書資料整備費	８，２０４ 千円
図書館業務委託事業費	３８，２６０ 千円
図書館整備費	１８６，５３１ 千円
合　　計	４６１，７９３ 千円

７ 施設の概要

本　　館
　構　　造　　鉄筋コンクリート造（地下１階・地上５階建）
　敷地面積　　３，３２９㎡　　建築面積　　１，７４７㎡
　延床面積　　７，９４５㎡　　総 工 費　　２，４８４，７１５千円

別　　館
　構　　造　　鉄筋コンクリート造（地上５階建）
　敷地面積　　１，６５３㎡　　建築面積　　８０９㎡
　延床面積　　３，２６９㎡　　総 工 費　　４５９，３２９千円
（ うち子ども図書館増築分　　１５０㎡　　６４，９６０千円 ）

◇蔵書冊数：約８２万冊（開架／１６万冊、閉架／６６万冊）
（一般用図書）７１万冊（開架／１４万冊、閉架／５７万冊）
（児童用図書）１１万冊（開架／　２万冊、閉架／　９万冊）

◇インターネット情報検索用ＰＣ
・第２閲覧室　：１１台（視覚障がい者用１台を含む）
・ふくおか資料室：１台
・子ども情報ルーム：３台

◇データベース検索用ＰＣ　１１台

８　利用案内

（１）開館時間

本館	第１閲覧室　　（１Ｆ） 第１閲覧室別室　（１Ｆ） 第２閲覧室、新聞室（２Ｆ）	午前９時～午後７時（日曜日は午後５時まで）
	ふくおか資料室　（３Ｆ）	午前９時～午後５時
別館	子ども図書館　　（１Ｆ） 学習室　　（３Ｆ）	午前９時～午後５時
	録音図書室　　（５Ｆ） ボランティアルーム	午前９時～午後５時 （一般の方の利用はできません）

（２）休館日　　（令和８年度）

毎週月曜日
図書整理日　　（毎月末日。ただし、土・日曜日に当たるときは開館）
創立記念日　　（４月１日）
工事等に伴う休館（１１月２日～１月１８日　※受変電設備更新、年末年始、特別整理）

（３）サービス内容

① 個人貸出
図書資料は貴重書・参考資料・その他規則により制限されているものを除き、貸出をしています。
貸出には利用者カードを必要とし、県内在住・在勤・在学であれば交付を受けることができます。
貸出は同時に１０点まで、貸出期間は１５日間（貸出日を含む。）です。

② 予約サービス
電話や当館ホームページで在架資料の予約もできます。

③ 指定館受取・返却サービス
当館が所蔵している資料について、利用者本人によるインターネットでの予約申込みにより、県内最寄りの図書館等で受取・返却ができます。

④ 相互貸借による資料提供サービス
当館が所蔵していない資料については、利用者の求めにより他の図書館（県内外の公共図書館・国立国会図書館等）から借り受けて利用に供しています。

⑤　インターネットによるサービス

インターネット上のホームページから、利用者カードの登録申請、資料の予約・貸出延長、蔵書検索や電子書籍の閲覧などができます。

所蔵資料の情報提供サービスは県内公共図書館所蔵情報を横断検索できるシステムを構築し、令和８年４月現在、参加６１館(県立図書館含む図書館（室）・専門図書館等)の図書資料情報が県立図書館ホームページから一括検索が可能です。

⑥　複写サービス

所蔵資料の電子複写及びマイクロフィルムからの引き伸ばしを、著作権法の範囲内で有料で応じています。

⑦　レファレンスサービス

日常生活の中などで起こる疑問や各種の調査・研究について、資料提供など相談に応じています。

電話、FAX、文書、レファレンスフォームでの相談も受け付けています。

⑧　学校支援サービス

学校における読書活動の推進や教育活動の支援のため、本やボードゲーム類の特別貸出事業及び特別支援学校等学校貸出図書セット事業、児童・生徒向け調べ方の近道案内（パスファインダー）の作成等を行っています。

⑨　バリアフリーサービス

読書に困難のある人（視覚障がいだけではなく失読症等の学習障がいなどがある方も対象）へのサービスのため録音図書の貸出等を行うほか、それらの利用体験の機会も提供しています。

録音図書製作ボランティア「福岡県立図書館音訳の会」に委嘱して録音図書を製作しています。

また、拡大読書器、録音図書再生機等を設置するとともに、大活字本の購入を進めています。

⑩　電子図書館サービス

非来館型サービスの一環として、電子書籍サービスを実施しています。専門書、参考図書中心の「１号館（KinoDen）」のほか、オーディオブックや子ども、ＹＡ資料を中心とした「２号館（Librari-E&TRC-DL）」が利用可能です。２号館は令和６年度から学校や子どもや障がいのある人を支援する団体向けサービスとして「電子書籍団体利用」を開始しました。

「福岡県立図書館デジタルライブラリ」では、当館で収集保存している福岡県に関する図書・雑誌・新聞・行政資料・古記録類・視聴覚資料などの一部をデジタル化し、閲覧・利用しやすい形で公開しています。

⑪　医療情報提供サービス

第一閲覧室別室に「医療コーナー」があります。

⑫　行政支援サービス

県職員の政策の企画・立案のための調査、情報収集の支援のため、レファレンスサービスや複写サービスを行っています。また、館内での県政ＰＲ展示や県内各図書館へのチラシ配布により、県の施策・事業のＰＲを行っています。

9　統計資料

（1）所蔵資料

① 図書資料

（単位：冊）

	Ｒ５年度末現在	Ｒ６年度末現在	Ｒ７年度末現在
一　　般	６６８，３９５	６５３，４７６	６３８，６５４
郷　　土	６９，５３９	７０，７１６	７１，５５３
子　ど　も	１０７，１５１	１０９，３８７	１１１，２０９
小　計	８４５，０８５	８３３，５７９	８２１，４１６
学校貸出セット	７０８	（内数　７６６）	（内数　７６５）
計	８４５，７９３	８３３，５７９	８２１，４１６

② 逐次刊行物

（単位：ﾀｲﾄﾙ）

		Ｒ５年度末現在	Ｒ６年度末現在	Ｒ７年度末現在
雑誌	一　　般	７，５２６	７，４９１	７，４０１
	郷　　土	７，７８１	７，８１７	７，７２６
	子 ど も	１７２	１７６	１７５
	計	１５，４７９	１５，４８４	１５，３０２
新聞	一　　般	２３２	２３１	２３２
	郷　　土	４０４	４０８	４１０
	子 ど も	４	５	５
	計	６４０	６４４	６４７
法　令　集		６	６	３
規格資料等		２	２	２
合　計		１６，１２７	１６，１３６	１５，９５４

③ その他資料

			Ｒ５年度末現在	Ｒ６年度末現在	Ｒ７年度末現在
マイクロ資料	ロール	一般室	１，９５７ ﾘｰﾙ	１，９７３ ﾘｰﾙ	１，９７３ ﾘｰﾙ
		郷土室	５，９５４ ﾘｰﾙ	５，９５４ ﾘｰﾙ	４，８９７ ﾘｰﾙ
		計	７，９１１ ﾘｰﾙ	７，９２７ ﾘｰﾙ	６，８７０ ﾘｰﾙ
	フィッシュ		１１，１４１ 枚	１１，１５４ 枚	１１，１５４ 枚
レ　コ　ー　ド			１，２２７ 枚	１，２２８ 枚	１，２２８ 枚
ビデオ、ＣＤ－ＲＯＭ等			１，５２６ 点	１，４５８ 点	１，６０２ 点
視力障がい者用録音資料			４，８０３ 枚	４，７７８ 枚	５，１１４ 枚
電　子　書　籍			１４，９５６ 点	１０，０５６ 点	１８，８３９ 点

④　特別コレクション

ⅰ　当館所蔵資料

福岡県史編さん資料		795	点
大田資料（藩政資料）		554	点
諸岡家文書（怡土郡大庄屋記録）		305	点
明石家文書（箱崎浦大庄屋記録）		375	点
河内卯兵衛資料（同氏遺品）	約	6,000	点
小原菁々子俳諧文庫（俳句関係資料ほか）	約	1,000	点
福岡県農業総合試験場資料		178	点
安部資料（安部幸六氏鳥類研究資料）	約	400	冊
波多江文庫（現代蒐書）	約	22,000	冊
エスペラント資料（伊藤徳之助氏遺品）	約	400	冊
萩尾映画資料（スチール及びプレス類）	約	20,000	点
映画資料（当館収集映画資料、ポスター、スチール及びプレス類）	邦画	6,344	ﾀｲﾄﾙ
	洋画	11,651	ﾀｲﾄﾙ
福岡日日新聞（明治２４年～昭和１７年）西日本新聞（昭和１７年以降）			
その他の貴重資料			
筑前国産物帳、益軒書簡、シーボルト「日本」			
福岡県関係近世古地図			
「筑前秋月藩館下之図」、「筑前国十五郡三図（正保筑前国絵図）」			
「柳河郭内之図」ほか多数			

ⅱ　寄託資料

衣笠文庫（郷土資料）		1,864	冊
杉山文庫（杉山茂丸氏・泰道氏・龍丸氏蔵書）（寄贈を含む）	約	1,000	点
夢野久作資料（小説家遺品）	約	100	点
禅寺洞文庫（吉岡禅寺洞氏遺品）		774	冊
方城町収集古文書（町文化財）	約	1,000	点
武谷文庫（武谷元立、祐之関係書簡ほか）	約	880	点
武谷文庫（第二次）	約	130	点
谷口資料（谷口良忠氏作成・収集鉄道関係資料）（寄贈を含む）	図書等	1,200	点
	雑誌	43	ﾀｲﾄﾙ
※竹田文庫（藩儒記録）約4,000点は、令和５年３月に大野城市へ移管。			

⑤　古文書等複製化状況（令和７年度）

No.	デジタル化資料名	資料点数
1	電話帳、フクニチ新聞、郷土行政資料、郷土図書	２，８７２

（２）所蔵資料受入状況

①　図書資料

（単位：冊）

		Ｒ６年度末現在	Ｒ７年度増	Ｒ７年度末現在
総記		36,630	100	36,730
哲学		39,961	▼900	39,061
歴史		80,451	▼1,716	78,735
社会科学		152,343	▼9,275	143,068
自然科学		56,464	638	57,102
技術		53,791	▼153	53,638
産業		35,507	23	35,530
芸術		64,469	▼3,252	61,217
言語		13,949	▼78	13,871
文学		172,116	1,225	173,341
絵本		36,075	622	36,697
布の絵本		166	3	169
紙芝居		1,810	35	1,845
行政		33,254	▼126	33,128
郷土		56,593	691	57,284
計		833,579	▼12,163	821,416
行政資料（再掲）	福岡県･県内市町村	14,123	146	14,269
	国・都道府県	19,131	▼272	18,859
学校貸出セット（再掲）		766	▼1	765
バリアフリー資料（再掲）		3,962	136	4,098

②　逐次刊行物

			Ｒ６年度末現在 タイトル数	Ｒ７年度増 タイトル数	Ｒ７年度末現在 タイトル数
雑誌	総記（G）		805	▼47	758
	人文（C）		472	▼11	461
	社会（S）		1,353	▼27	1,326
	科学・技術（T）		1,329	▼5	1,324
	文芸（L）		1,006	0	1,006
	郷土（K）		4,878	20	4,898
	子ども（J）		176	▼1	175
	行政資料	福岡県及び県内市町村	2,939	▼111	2,828
		国及び都道府県	2,526	0	2,526
	計		15,484	▼182	15,302
新聞	一般		231	1	232
	郷土		408	2	410
	子ども		5	0	5
	計		644	3	647
法令集			6	▼3	3
規格資料等			2	0	2
合計			16,136	▼182	15,954

（３）利用状況

①　入館者数

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
入　館　者　数	221,451(777)	224,007（797）	217,354（763）
年間開館日数（日）	285	281	285

※（　）は１日平均

②　ホームページアクセス数

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
ホームページアクセス数	859,150	1,037,848	1,006,359

③　図書資料等貸出状況

		Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
登録者数（人）	一　般	134,286	137,400	140,589
	子ども	7,262	7,649	7,978
	計	141,548	145,049	148,567
利用件数（人）（相互貸借を含む）	一　般	152,563	146,038	138,821
	子ども	14,131	14,348	11,515
	計	166,694	160,386	150,336
貸出冊数（冊）（相互貸借を含む）	一　般	303,199	288,326	274,023
	子ども	110,738	108,056	95,014
	計	413,937	396,382	369,037
電子書籍閲覧回数		63,840	90,905	80,348

録音図書

		Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
個人	登録者数(人)	322	326	327
	利用冊数(冊)	1,468	1,391	1,034
	利用巻数(巻)	1,472	1,391	1,034
団体	利用団体数	113	113	113
	利用冊数(冊)	870	802	619
	利用巻数(巻)	870	802	619

指定館貸出･返却ｻｰﾋﾞｽ利用件数

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
受取利用(冊)	11,168	12,844	13,815
返却利用(冊)	3,793	4,121	3,270
計	14,961	16,965	17,085
協力館　(館)	53	53	53

※協力館数は、年度末の数値。

相互貸借

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
貸出(再掲)	13,400（うち県外789）	12,627（うち県外863）	11,668（うち県外620）
借　　受	3,091（うち県外440）	2,819（うち県外411）	2,778（うち県外550）

※「県外」は公共図書館のみ

特別支援学校等学校貸出図書セット　（単位：セット）

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
貸出状況(再掲)	10	14	10

図書館・学校等向けゲーム貸出点数

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
公共図書館（室）	34	42	48
小学校	5	19	6
中学校	16	16	27
高等学校	28	22	30
特別支援学校	0	19	5
その他	0	9	5
計	83	127	121

④　オンラインデータベース利用件数（アクセス数）

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
利用件数	58,291	171,274	101,222

⑤　資料の特別利用

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
１　資料の復刻・翻刻	３件	１件	０件
２　資料掲載	２０件	１０件	８件
３　資料の放映	７件	０件	２件
４　その他（展示等）	７件	１件	３件
計	３７件	１２件	１３件

⑥　複写利用状況

		Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
枚　　数	第２閲覧室	45,893枚	44,482枚	39,199枚
	ふくおか資料室	64,377枚	47,309枚	49,272枚
	計	110,270枚	91,791枚	88,471枚

※　カラーコピーは１枚３０円、モノクロ、マイクロコピーは１枚１０円

⑦　「特別複写・自写申請書」による撮影枚数

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
枚　　数	23,194 枚	22,780 枚	12,486 枚

⑧　「おはなし」の時間

日　時	対　象	内　容	
毎週水曜日１１時	０・１・２歳	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング 紙しばい　ほか	
毎週土曜日１４時	幼児・小学生		
	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
実施回数	98回	96回	96回
参加延人数	845人 （うち子ども 464人）	933人 （うち子ども 491人）	771人 （うち子ども 400人）

⑨　第二閲覧室　閲覧席・インターネット利用者

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
閲覧席利用者数	18,132	17,540	16,150
インターネット利用者数	4,124	4,113	4,148

⑩　子ども情報ルーム　学習目的利用者（内パソコン利用者）

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
利 用 者 数（人）	1,095（380）	899（196）	983（186）

⑪　子ども読書普及活動講師派遣状況及び受講者数

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
講師派遣件数(回数)	3件(3回)	3件(3回)	3件(3回)
受 講 者 数(人)	90	115	254

⑫　資料補修講師派遣状況及び受講者数

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
講師派遣件数(回数)	2件(回)	1件(回)	1件(回)
受 講 者 数（人）	11	6	24

⑬　レファレンス件数

		Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
面　　談	一　　般	34,073	34,506	25,378
	ふくおか資料室	3,744	2,865	3,708
	子ども室	3,707	3,584	2,892
	計	41,524	40,955	31,978
電　　話	一　　般	13,210	11,631	7,898
	ふくおか資料室	1,763	1,310	1,240
	子ども室	436	373	221
	計	15,409	13,314	9,359
文　　書	一　　般	381	376	128
	ふくおか資料室	13	17	39
	子ども室	0	0	0
	計	394	393	167
ＦＡＸ	一　　般	59	34	15
	ふくおか資料室	58	12	30
	子ども室	0	0	0
	計	117	46	45
Ｅメール	一　　般	2,885	1,768	1,207
	ふくおか資料室	695	519	617
	子ども室	6	16	1
	計	3,586	2,303	1,825
ｳｫﾝﾃｯﾄﾞ（所在調査用掲示板）	一　　般	67	23	37
	ふくおか資料室	0	4	0
	子ども室	0	0	0
	計	67	27	37
合　　計	一　　般	50,675	48,338	34,663
	ふくおか資料室	6,273	4,727	5,634
	子ども室	4,149	3,973	3,114
	計	61,097	57,038	43,411

※ｳｫﾝﾃｯﾄﾞ：県内未所蔵資料の問合せについて、当館が対応した件数。

⑭　書庫出納

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
総記	1,560	1,176	1,117
哲学・宗教	2,622	3,102	2,612
歴史・地理	4,171	4,138	3,636
社会科学	4,694	4,921	4,479
自然科学	1,999	2,101	1,828
工学	1,808	1,782	1,612
産業	1,178	1,222	1,113
芸術	2,562	2,922	2,367
言語	546	709	661
文学	8,635	8,977	8,550
雑誌	7,794	13,392	10,336
子ども	13,863	10,328	8,600
郷土	12,092	14,680	15,000
その他※	4,155	3,993	3,257
合計	67,679	73,443	65,168

※「その他」には、新聞・ＡＶ資料・行政資料等を含む。
※令和６年度要覧では、Ｒ５年度の「子ども」を 2,488 としていたが、13,863 に訂正。

⑮　県内公共図書館設置状況

	Ｒ５年度末	Ｒ６年度末	Ｒ７年度末
市　　立	２９(２９)	２９(２９)	２９(２９)
町　　立	２４(２９)	２４(２９)	２４(２９)
村　　立	０(　２)	０(　２)	０(　２)
合　　計	５３(６０)	５３(６０)	５３(６０)

(　) 内は市町村数を表示している。

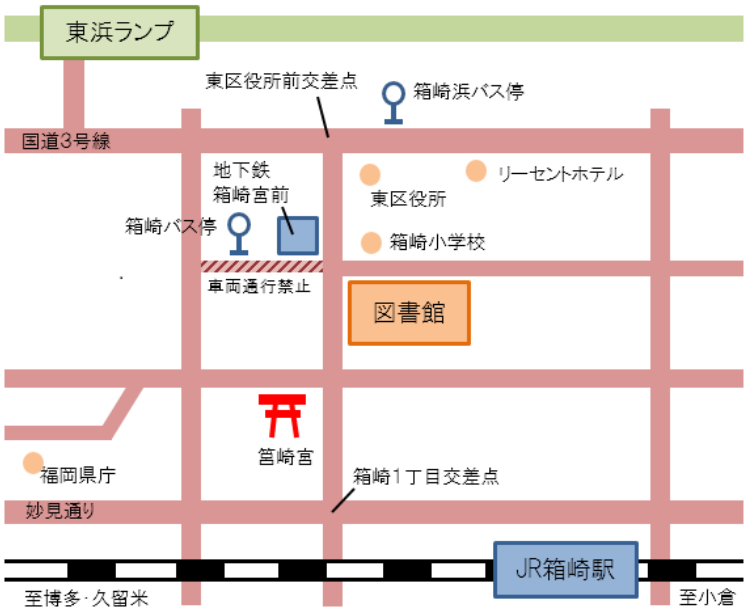
⑯　録音図書室

○　沿　革

昭和４０年　４月　盲人用録音物等発受施設の申請を郵政省へ提出 11 月認可
　　１１月　録音図書吹込開始（朗読ボランティア７名）
昭和４２年　４月　福岡県文化会館　盲人用テープライブラリー発足
　　蔵書 25 冊（68 巻）　利用登録者 22 名
昭和４８年　４月　オープンリールからカセットに切り替える
昭和５０年　　録音図書制作ボランティアとして「福岡県朗読奉仕者の会」創立
昭和５３年　２月　逐次刊行物「暮しの手帖」録音版発刊
昭和５３年　２月　朗読奉仕者の会会報「かけはし」創刊
　　１０月　日本点字図書館団体登録が承認される
　　１２月　国立国会図書館学術文献録音サービス受付機関となる
昭和５６年　９月　福岡県朗読奉仕者の会が福岡市社会福祉協議会より表彰を受ける
昭和５８年　４月　福岡県立図書館録音図書室としてスタート
昭和６３年　４月　福岡県朗読奉仕者の会が「第24回社会を明るくするフクニチ新聞社賞」を受賞
平成　２年　６月　福岡県朗読奉仕者の会が厚生大臣表彰を受ける
平成　６年１０月　福岡県朗読奉仕者の会が「福岡県教育文化功労者表彰」を受賞
平成　８年１０月　録音図書校正ボランティア養成講座開催
　　（平成８年度生涯学習ボランティア活動総合推進事業）
平成１１年　４月　福岡県立図書館所蔵録音図書情報インターネットで提供開始
平成１６年　５月　福岡県朗読奉仕者の会が「緑綬褒章」を受章
平成１９年１２月　デイジー図書（デジタル音声情報システムによる録音図書）の貸出開始
平成２２年　４月　福岡県朗読奉仕者の会が会の名称を「福岡県立図書館音訳の会」に変更
平成２４年　４月　サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）図書館に加入
平成２５年　９月　福岡県立図書館音訳の会が朗読録音奉仕グループ奨励賞（財団法人鉄道弘済会ほか主催）を受賞
平成２７年　７月　サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）図書館でのオンラインリクエスト受付開始
平成２７年１１月　「福岡県立図書館音訳の会」創立４０周年記念講演会
平成２８年１１月　福岡県立図書館音訳の会が、第２４回福岡県文化賞（社会部門）を受賞
平成３０年１１月　福岡県立図書館音訳の会が、平成３０年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞
令和　元年　７月　国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスへ、デイジー図書データ登録開始
令和　７年１１月　「福岡県立図書館音訳の会」創立５０周年記念講演会

（令和８年４月現在　音訳ボランティア 48 名）

○所蔵枚数　　4,472 枚（１タイトルにつき、保存用と貸出用の２枚を所蔵）



〒８１２－８６５１
福岡市東区
箱崎１丁目４１－１２

【交通案内】

・地下鉄　「箱崎宮前」１番出口から約１００ｍ
・西鉄バス「箱崎浜」から約４００ｍ
・西鉄バス「箱崎」から約１００ｍ
・JR 九州「箱崎」から約８００ｍ

【電話案内】

・代表電話番号　０９２－６４１－１１２３
・レファレンス　０９２－６４１－１１２８
・貸出・返却　０９２－６４１－１１２４
・子ども図書館　０９２－６４１－１１６１

・総務企画室　０９２－６４１－１１２５
　０９２－６４１－１２３９
・資料支援室　０９２－６４１－１１４０
・総合サービス室　０９２－６４１－１１８３
・ふくおか資料室　０９２－６４１－１１２６

・FAX　０９２－６４１－１１２７
・E-mail　kentosho@lib.pref.fukuoka.jp
・ホームページ　https://www2.lib.pref.fukuoka.jp

編集・発行/令和８年　９月２５日　　福岡県立図書館